R7年度 リカレント教育モデル
「シラバス」

シラバス
(IT利活用コース)

【全体シラバス】IT利活用コース

コース名	形式	科目名
IT利活用	オンライン・対面	地域観光×IT活用実践プログラム 2025
時間	受講対象者	講師
19.5	正規受講生 単発受講可能	家本賢太郎・嶋田俊平・村山慶輔 久保尭之・鈴木俊良・廣瀬実華

●コース概要

本コースは、地域資源を活かした観光まちづくりや事業開発の現場を体感し、IT・AIを武器として地域課題を解決する実践型プログラムです 。単なる座学にとどまらず、南阿蘇でのフィールドワークを通じて「現場の裏側」を学び、各自のテーマに沿ったアクションプランを策定・実装することを目指す。

●ゼミ概要 (選択制)

久保ゼミ： 地域観光マーケティング・官民連携・事業開発
鈴木ゼミ： 訪日インバウンドマーケティング・国内/外国人材の確保・活用
廣瀬ゼミ： PR・SNS・メディア活用

●到達目標

【ねらい】 講師の伴走を受けながら、自地域や事業の課題に対する質の高いアウトプットを導き出し、「明日からアクションできる」状態になること 。
【目標】 地域資源を活用したビジネスモデルや集客戦略を理解し、実務の中でIT・AIを使いこなして業務改善や課題解決ができるようになること 。

●スケジュール・内容

第1回：オリエンテーション
プログラム趣旨説明、ゼミ講師との顔合わせ、各自の課題意識の共有。
第2回：ゲスト講義①
家本賢太郎氏による「地域の移動を変える事業創造と実装」の講義とゼミ検討。
第3回：ゲスト講義②
嶋田俊平氏による「滞在型観光と高付加価値化の仕組み」の講義と戦略構想。
現地FW：南阿蘇フィールドワーク
【Day1】 道の駅あそ望の郷や長陽駅の視察を通じた地域資源の活かし方の学習 。
【Day2】 戦略・アクションプランの企画資料作成と講師フィードバック 。
第4回：実装検討セッション
各ゼミ（久保・鈴木・廣瀬ゼミ）に分かれ、各自の企画を深掘り・ブラッシュアップ。
第5回：ゲスト講義③
村山慶輔氏による「インバウンド×ITの最新潮流」の講義と自地域への応用検討。
第6回：最終成果発表会
ゼミ探究をもとに成果を発表。講師陣からの最終講評とネクストアクションの確認。

【久保ゼミ】IT利活用コース

コース名	形式	科目名
IT利活用	オンライン	ローカルアクション・ラボ 【地域観光マーケティング・官民連携・事業開発】
	受講対象者	講師
	正規受講生	久保尭之 （地域DMO：みなみあそ観光局 戦略統括マネジャー）

●講師情報

鹿児島県出身、熊本県南阿蘇村在住。みなみあそ観光局（地域DMO）戦略統括マネジャー、専門学校イデアITカレッジ阿蘇 地域観光デザイン学科ディレクター、株式会社アクウィー代表取締役、他。東京大学工学部卒業後、重工メーカーで設計開発に従事。東北の産業復興支援を経て熊本地震後に南阿蘇へ移住し、地域DMOの立ち上げ、観光振興、地域資源を生かしたコンテンツ開発、宿泊施設や飲食事業の運営、空き家活用や事業承継といった地域課題解決型の事業を幅広く手がける。観光行政・マーケティング・IT活用・事業開発を専門とし、現場起点の実践と政策を結ぶ架け橋として活動中。

●科目概要

本科目は、ゼミ形式で実施し、テーマに沿った課題設定・探求、解決策を検討・研究していく。
久保ゼミのテーマ【地域観光マーケティング・官民連携・事業開発】
地方創生・観光地域づくりの核として、地域資源を活かした観光コンテンツの開発、地域マーケティングの手法、行政・民間・住民の連携による地域課題の解決が求められている。そこで本ゼミでは、地域の実情を踏まえた持続可能なマーケティング・事業プランの立案を行う。また、IT・AIを活用した課題分析や企画立案の手法を習得する。

●到達目標

【ねらい】各ゼミに置いて、参加者の自地域や事業、もしくは阿蘇をフィールドとした課題探求・解決策の検討・研究を通して、「明日からアクション出来る」をゴールに、一人ではなく担当講師と一緒に質の高いアウトプットを導いていく。また、そのプロセスを体感し、自身のノウハウへ昇華していく。
【目標】参加者が自地域や関心分野における「地域資源の活用」や「課題解決の実践例」を理解し、地域の動かし方を見極める力を養う。また、それを持続可能なプランとして落とし込み、明日からの各自のアクションに繋げる。さらに、実務の中でIT・AIを使いこなし、業務を改善していけるようになる。

●授業内容

0.各ゼミ配属に伴う事前レポートの提出。※事前課題
1.各ゼミ配属とイントロダクション。
2.各ゼミごとに課題探求・解決策検討。
3.南阿蘇でのリアルゼミ開催。
4.成果発表会・最終好評
その他、持ち帰りで研究を進め、担当講師とコミュニケーションも必要に応じて実施。

【鈴木ゼミ】IT利活用コース

コース名	形式	科目名
IT利活用	オンライン	ローカルアクション・ラボ 【インバウンド・国内.外国人材】
	受講対象者	講師
	正規受講生	鈴木俊良 （専門学校イデアITカレッジ阿蘇 副校長）

●講師情報

神奈川県出身、熊本県南阿蘇村在住。専門学校イデアITカレッジ阿蘇 副校長、株式会社アクウィー取締役。中国やカナダへの留学経験を経て、JTB Asia Pacific入社。ミャンマー支店にてインハウス事業の立ち上げなどを経験し、ミャンマー地方で起業。地域資源を活かした持続可能な観光事業と飲食事業を運営。コロナ禍で帰国し、イデアITカレッジ阿蘇の立ち上げに参画。国内外の学生募集や広報マーケティングを中心に学校運営を担い、株式会社アクウィーでは旅行事業を担当。

●科目概要

本科目は、ゼミ形式で実施し、テーマに沿った課題設定・探求、解決策を検討・研究していく。
鈴木ゼミのテーマ【訪日インバウンドマーケティング・国内／外国人材】
訪日外国人旅行者数が増加する中、地方における大きな課題として挙げられる『外国人観光客の取り込み』と『人材確保』。本ゼミでは、外国人観光客獲得に向けた課題の整理と戦略立て、またインバウンド対応に限らず国内／外国人材の確保、活用について検討、研究をおこなう。また、IT・AIを活用したインバウンド集客や対応、省人化の可能性についても検討する。

●到達目標

【ねらい】参加者の自地域や事業、もしくは阿蘇をフィールドとした課題探求・解決策の検討・研究を通して、「明日からアクション出来る」をゴールに、一人ではなく担当講師と一緒に質の高いアウトプットを導いていく。また、そのプロセスを体感し、自身のノウハウへ昇華していく。
【目標】外国人観光客獲得に向けた現状の課題を整理・理解し、適切な対応策を検討できるようになる
地域や組織の実情に合わせた人材確保、活用の可能性を考え、新たな取り組みを検討できるようになること。また、実務の中で、IT・AIを使いこなし、業務を改善していけるようになること。

●授業内容

0.各ゼミ配属に伴う事前レポートの提出。※事前課題
1.各ゼミ配属とイントロダクション。
2.各ゼミごとに課題探求・解決策検討。
3.南阿蘇でのリアルゼミ開催。
4.成果発表会・最終好評
その他、持ち帰りで研究を進め、担当講師とコミュニケーションも必要に応じて実施。

【廣瀬ゼミ】IT利活用コース

コース名	形式	科目名
IT利活用	オンライン	ローカルアクション・ラボ 【PR・SNS・メディア】
	受講対象者	講師
	正規受講生	廣瀬実華　(専門学校イデアITカレッジ阿蘇 コーポレートコミュニケーション室 室長)

●講師情報

大分県出身、大分県在住。イデアパートナーズ株式会社 地域活性事業部 ディレクター、熊本県商工会連合会PR・SNS等専門家。株式会社リクルートにて「結婚情報誌ゼクシィ」の紙・WEB媒体営業を経験。その後LINE Fukuoka株式会社にて、現在のLINE公式アカウントの企画営業を担当。同社広報部署にてコーポレートコミュニケーションにも従事。現在は専門学校のコーポレートコミュニケーション責任者、SNS・PR実践など4科目の講師、地域活性事業の企画営業と多方面で奮闘中。

●科目概要

本科目は、ゼミ形式で実施し、個々テーマに沿った課題設定・探求、解決策を検討・研究していく。
廣瀬ゼミのテーマ【PR・SNS・メディア】
現代におけるPRはSNSを含め様々なチャネルがあり、運用するにもノウハウの吸収・アウトプットのクオリティーが求められる。本ゼミでは、課題に基づいた最適なPRをテーマに解決策の検討・研究を行う。また、ITやAIを活用した業務の効率化も検討する。

●到達目標

【ねらい】参加者の自地域や事業、もしくは阿蘇をフィールドとした課題探求・解決策の検討・研究を通して、「明日からアクション出来る」をゴールに、一人ではなく担当講師と一緒に質の高いアウトプットを導いていく。また、そのプロセスを体感し、自身のノウハウへ昇華していく。
【目標】課題に対して、適切なPR戦略を検討できるようになる。ターゲティングやチャネル選択、メッセージ内容やクリエイティブ、継続可能な運用の検討を踏まえ、明日からPR観点で何をすればいいのかが明確になること。また、実務の中で、IT・AIを使いこなし、業務を改善していけるようになること。

●授業内容

0.各ゼミ配属に伴う事前レポートの提出。※事前課題
1.各ゼミ配属とイントロダクション。
2.各ゼミごとに課題探求・解決策検討。
3.南阿蘇でのリアルゼミ開催。
4.成果発表会・最終好評
その他、持ち帰りで研究を進め、担当講師とコミュニケーションも必要に応じて実施。

【1泊2日フィールドワーク：1日目】IT利活用コース

コース名	形式	科目名
IT利活用	オンライン	フィールドワーク in 南阿蘇
時間	受講対象者	講師
4.0	正規受講生	久保尭之 （地域DMO：みなみあそ観光局 戦略統括マネジャー）

●講師情報

鹿児島県出身、熊本県南阿蘇村在住。みなみあそ観光局（地域DMO）戦略統括マネジャー、専門学校イデアITカレッジ阿蘇 地域観光デザイン学科ディレクター、株式会社アクウィー代表取締役、他。東京大学工学部卒業後、重工メーカーで設計開発に従事。東北の産業復興支援を経て熊本地震後に南阿蘇へ移住し、地域DMOの立ち上げ、観光振興、地域資源を生かしたコンテンツ開発、宿泊施設や飲食事業の運営、空き家活用や事業承継といった地域課題解決型の事業を幅広く手がける。観光行政・マーケティング・IT活用・事業開発を専門とし、現場起点の実践と政策を結ぶ架け橋として活動中。

●科目概要

熊本県南阿蘇地域を舞台に、地域資源を活用した観光まちづくりの現場を体感しながら、地域資源の活かし方やIT利活用の課題と可能性を実践的に学ぶ。現地視察で現場の裏側まで含めて知ることで観光・地域振興における実践的なスキルとマインドを養い、実践型ゼミでのワークに繋げていく。

●到達目標

【ねらい】南阿蘇を1つのモデルケースとして、地域観光の現状と可能性を理解し、ITも活用しながら持続可能な観光地域づくりを進めるための方法論を学ぶ。
【目標】地域資源を活用したビジネスモデルや集客戦略、地域住民との連携の重要性などを理解し、自らの地域への応用を考える。

●授業内容

【Day 1】
①全体講義（13:00-14:00：1h）
・FW全体のオリエンテーション＆アイスブレイク
・講義：地域経済の理解と、AIを活用した観光地域づくりの現場運営
②南阿蘇視察（14:00-16:00：2h）
・現場の表側＆裏側の両方を知りながら、地域資源の活かし方を学ぶ視察見学
・スポット①：道の駅あそ望の郷くぎの：熊本県内人気No.1の道の駅と地域DMOの役割を学ぶ
・スポット②：長陽駅 久永屋（予定）：南阿蘇鉄道の復興と地域との共生について学ぶ
③ゼミ別ワーク（16:00-17:00：1h）
・視察の振り返り（全体）
・ゼミ別のイントロダクション＆各参加者の課題意識の共有

【1泊2日フィールドワーク：2日目】IT利活用コース

コース名	形式	科目名
IT利活用	オンライン	フィールドワーク in 南阿蘇
時間	受講対象者	講師
5.0	正規受講生	久保尭之 （地域DMO：みなみあそ観光局 戦略統括マネジャー）

●講師情報

鹿児島県出身、熊本県南阿蘇村在住。みなみあそ観光局（地域DMO）戦略統括マネジャー、専門学校イデアITカレッジ阿蘇 地域観光デザイン学科ディレクター、株式会社アクウィー代表取締役、他。東京大学工学部卒業後、重工メーカーで設計開発に従事。東北の産業復興支援を経て熊本地震後に南阿蘇へ移住し、地域DMOの立ち上げ、観光振興、地域資源を生かしたコンテンツ開発、宿泊施設や飲食事業の運営、空き家活用や事業承継といった地域課題解決型の事業を幅広く手がける。観光行政・マーケティング・IT活用・事業開発を専門とし、現場起点の実践と政策を結ぶ架け橋として活動中。

●科目概要

熊本県南阿蘇地域を舞台に、地域資源を活用した観光まちづくりの現場を体感しながら、地域資源の活かし方やIT利活用の課題と可能性を実践的に学ぶ。現地視察で現場の裏側まで含めて知ることで観光・地域振興における実践的なスキルとマインドを養い、実践型ゼミでのワークに繋げていく。

●到達目標

【ねらい】南阿蘇を1つのモデルケースとして、地域観光の現状と可能性を理解し、ITも活用しながら持続可能な観光地域づくりを進めるための方法論を学ぶ。
【目標】地域資源を活用したビジネスモデルや集客戦略、地域住民との連携の重要性などを理解し、自らの地域への応用を考える。

●授業内容

【Day 2】
①全体ワーク（09:00-09:40：40min）
・地域活性化に向けたナレッジシェアリング
②ゼミ別ワーク（09:40-11:30：1h50min）
・現状分析→戦略→アクションプランの企画資料の作成を
・大枠を各自で作りつつ、ゼミ担当講師からのフィードバック
③リフレッシュタイム（11:30-12:00：30min）
・現場視察：復興の象徴「新阿蘇大橋展望所ヨ・ミュール」見学
④昼食交流会（12:00-13:00：1h）
・参加者同士で懇親を図る
⑤全体ワーク（13:00-14:00：1h）
・各個人&ゼミの進捗共有・チェックアウト&事務連絡

シラバス
(AIキャリアアップコース)

【第1回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	生成AI活用の目的と基礎
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）

●講師情報

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。

●科目概要

AI活用状況が初級から中級程度の参加者を対象に、AI活用の基礎中の基礎から実践的なテクニックまでを学ぶ。特に、ChatGPT、Gemini、Claudeといった主要なAIツールの特徴と違いを理解し、実際に操作することでアウトプットの違いを体感する。また、業務で品質の高いアウトプットを得るためのプロンプト作成テクニックの基本を習得する。さらには、競合調査に特化したAIツールや、AIツール同士を組み合わせた効率的な事業企画作成方法についても学ぶ。

●到達目標

【ねらい】 AIの出力品質は人間からの指示（プロンプト）の質に左右されるという認識を持ち、AIが万能ではないことを理解する。AIに対する心理的ハードルを払拭し、業務でのAI活用への意識を高める。
【目標】 主要な3大AIツール（ChatGPT、Gemini、Claude）の基本的な使い方、それぞれの特徴や長所・短所を理解し、適切に使い分けられるようになる。役割指示、コンテキスト（背景や前提条件）、制約条件などを盛り込んだ、業務に役立つ質の高いプロンプトを作成できるようになる。ChatGPTのキャンバスモードや、GeminiとGoogleサービスを連携させた実践的な活用方法を習得する。

●授業内容

主要な3大AIツール、ChatGPT、Claude、Geminiの特徴を比較し、日本語対応やGoogle連携などを把握する。最適なツールを使い分けることで、高品質なアウトプットを生み出せるため、プロンプト作成では、AIに役割、コンテキスト、制約条件を明確に伝える方法を学ぶ。ChatGPTでは、カスタム指示、メモリ機能の活用法を解説し、出力文章の読解レベルや長さを調整するキャンバスモード、定期情報収集のスケジュール機能も実演。Geminiでは、インフォグラフィックでレポートを作成できる強みを活かし、生成コードをGoogleサイトに埋め込んで資料をウェブサイトとして公開・共有する効率的な方法を実演する。複数のAIツールを組み合わせた活用戦略を紹介し、市場調査用のPerplexityを活用し、ChatGPTに連携させて事業企画を作成する実践例を通して、ツール連携による業務効率向上を目指す。

【第2回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	社内マニュアルの作成
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）

●講師情報

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。

●科目概要

既存の社内ルールや規約をAIを活用してマニュアル化する手法を学ぶ。散在するテキスト情報を整理し、誰が見ても分かりやすい形式に変換する技術を習得する。Feloを使ったスライド作成や、NotebookLMを活用した情報整理など、複数のAIツールを組み合わせた効率的なマニュアル作成フローを体験する。テキストベースの情報を視覚的に分かりやすくまとめるスキルは、マニュアル作成に限らず様々な業務に応用可能である。

●到達目標

【ねらい】 テキストベースの情報をAIで効率よく整理・可視化する考え方を身につける。1つのスキルを習得するだけでなく、それを自分の業務に応用する発想力を養う。
【目標】 Feloを使って既存のテキスト情報からスライド形式のマニュアルを作成できるようになる。NotebookLMを活用して複数の情報源を統合・整理する方法を習得する。AIツールの特性を理解し、目的に応じて最適なツールを選択・組み合わせられるようになる。

●授業内容

既存ルールのマニュアル化と新規マニュアル作成の2種類のアプローチを解説する。Feloの検索機能とAIスライド作成機能を活用し、テキスト情報を視覚的に分かりやすいスライド形式に変換する方法を実践する。プロンプトの構成として、シンプルな指示でも効果的なアウトプットを得るコツを紹介する。NotebookLMを使った情報の統合・整理手法を学び、複数の資料を一元管理する方法を習得する。AIは知恵の勝負であり、1つのスキルを様々な業務に応用する視点が重要であることを強調し、自社のサービス説明や商品説明、社内規定など、様々な場面への応用方法を考える。

【第3回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	議事録作成の効率化
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	河原田 茉莉（UNFRAME）

●講師情報

大手化粧品メーカーで約10年、商品企画・ブランド開発に従事。独立後は化粧品・美容領域に特化し、新規ブランドや新商品の支援を行う。AIを活用した「コンセプト設計〜世界観構築」を強みに、AI×ブランディング講座を主宰。セミナー累計参加者300名超の実績を持つ。

●科目概要

AI文字起こしツールを活用した効率的な議事録作成手法を学ぶ。Notta、TLDV、Zoom AIコンパニオンなど代表的なツールの特徴と使い分けを理解し、自社に最適なツールを選択できるようになる。議事録作成にとどまらず、文字起こしデータを引き継ぎ資料や新人教育、営業力向上に活用する発展的な使い方も紹介する。テキストデータの価値を最大化するAI活用術を習得する。

●到達目標

【ねらい】 議事録作成を単なる記録業務ではなく、組織の知識資産を蓄積・活用する機会として捉える視点を養う。文字起こしデータの多様な活用可能性を理解する。
【目標】 主要なAI文字起こしツールの特徴を理解し、用途に応じて適切なツールを選択できるようになる。効果的な議事録作成プロンプトを設計できるようになる。文字起こしデータを営業教育や引き継ぎ資料など、議事録以外の用途に活用する方法を習得する。

●授業内容

AI議事録ツールとしてNotta、TLDV、Zoom AIコンパニオンの3種類を比較し、日本語対応、オフライン対応、コスト面などの観点から特徴を解説する。Nottaはフィラー除去や単語登録機能に優れ、TLDVは時間制限なしで多言語対応に強い点を紹介する。議事録作成プロンプトでは、役割・目的・出力形式の3要素を意識した設計方法を学ぶ。合意事項と未合意事項の明確化、次のアクションの抽出など、実務で役立つ出力フォーマットを実践する。さらに、営業スクリプトの比較分析による営業力向上、引き継ぎ資料の自動生成、新人教育への活用など、議事録データの発展的な活用方法を紹介する。

【第4回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	社内ノウハウの集約（GPTs作成）
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	河原田 茉莉（UNFRAME）

●講師情報

大手化粧品メーカーで約10年、商品企画・ブランド開発に従事。独立後は化粧品・美容領域に特化し、新規ブランドや新商品の支援を行う。AIを活用した「コンセプト設計〜世界観構築」を強みに、AI×ブランディング講座を主宰。セミナー累計参加者300名超の実績を持つ。

●科目概要

ChatGPTの有料機能であるGPTsを活用し、専門性を持たせたオリジナルチャットボットの作成方法を学ぶ。GPTsはスマートフォンにおけるアプリのような存在であり、特定の業務に特化したAIアシスタントを構築できる。社内の質問対応ボットや文章作成ボットなど、実務で即活用可能なGPTsを実際に作成しながら、プロンプト設計の実践力を高める。

●到達目標

【ねらい】 GPTsの仕組みと可能性を理解し、AIを活用したマネタイズや業務効率化の第一歩を踏み出す。プロンプトの構造を理解することで、GPTs作成の基盤を築く。
【目標】 GPTsの基本的な作成手順を習得し、独自のチャットボットを構築できるようになる。役割設定、ルール定義、知識の付与、指示出しの4要素を理解し、実践できるようになる。作成したGPTsを活用したサービス提供やマネタイズの可能性を理解する。

●授業内容

GPTsの概念を解説し、ChatGPTがスマートフォンならGPTsはアプリであるという位置づけを理解する。GPTsで実現できることとして、質問対応チャットボット、文章作成ボット、業務特化型アシスタントなどの事例を紹介。GPTs作成の3ステップとして、操作方法の習得、プロンプトのカスタマイズ、オリジナルGPTsの構築を順に実践する。指示文の設計では、役割の付与、ルールの設定、知識データの読み込み、具体的な指示出しの方法を学ぶ。実践演習として、パワハラ防止のための言い換えボットなど、実用的なGPTsを作成する。GPTsのマネタイズ事例も紹介し、スキルを収益化する可能性を示す。

【第5回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	事業企画の作り方
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）

●講師情報

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。

●科目概要

AIを活用した競合調査から事業企画立案、スライド資料作成までの一連のフローを学ぶ。Perplexityによる出典付き情報収集、ChatGPTでの企画立案、Gammaを使ったスライド自動生成など、複数のAIツールを連携させた効率的な事業企画プロセスを習得する。実在企業を題材にしたケーススタディを通じて、実践的なスキルを身につける。

●到達目標

【ねらい】 AIツールを単体で使うのではなく、複数のツールを組み合わせて相乗効果を生み出す発想を身につける。事業企画における情報収集から資料作成までの全体像を把握する。
【目標】 Perplexityを使って出典付きの市場調査・競合調査ができるようになる。収集した情報をChatGPTで整理・分析し、事業企画案を立案できるようになる。GammaやNotebook LMを活用して、調査結果や企画内容を視覚的に分かりやすいスライドにまとめられるようになる。

●授業内容

Perplexityの特徴として、参照元リンク付きで情報を提供する点を解説し、信頼性の高い市場調査手法を学ぶ。中小企業のDX導入率など具体的なテーマで情報収集を実践する。収集した情報をChatGPTに連携させ、事業企画を立案するワークフローを構築する。Gammaを使ったスライド自動生成では、Googleドキュメントとの連携機能を活用し、テキスト情報から見栄えの良いプレゼン資料を作成する方法を実演する。ケーススタディとして実在企業を題材に、競合調査から事業企画提案までの一連の流れを体験する。ツール連携による業務効率化の可能性を実感する。

【第6回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	AIライティング技術①
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	大内 結貴（株式会社ミライブースト）

●講師情報

京都大学大学院修了。診断薬開発から教材制作、マーケティングまで多様な業界を経験し、論文執筆実績も持つ。豊富な企業研修実績を持つAI活用講師として、様々な業界・職種に対するカスタマイズ研修を提供する。Webライターとして実務経験を積み、AIを活用した効率的なライティング手法を確立している。

●科目概要

AIを活用した高品質な文章作成の基礎を学ぶ。SEO記事作成を題材に、キーワードリサーチの自動化、ユーザー検索意図に応じた記事構成法、品質管理と校正の効率化を習得する。ライティングの基本原則を理解した上でAIを活用することで、AIが出力した文章の品質を適切に評価・改善できる力を養う。

●到達目標

【ねらい】 AIに文章を書かせる際の基礎知識を身につけ、出力された文章が適切かどうかを判断できる目を養う。ライティングの基本原則を理解し、AIを効果的に活用する土台を築く。
【目標】 記事構成の基本（導入15%、本文70%、結論15%）を理解し、AIへの指示に反映できるようになる。キャンバスモードを活用した読解レベルの調整や文章の長さ変更ができるようになる。Perplexityを使った情報収集からChatGPTでの下書き作成までの一連のフローを習得する。

●授業内容

Webライティング市場の現状と、AI活用によるコンテンツ制作の効率化について解説する。記事構成の基本として、導入部・本文・結論の適切な配分と、各パートの役割を学ぶ。H2・H3見出しによる情報の階層化、読者の課題認識から解決策提示までの流れを理解する。CTAボタンの効果的な配置位置についても触れる。Perplexityを使ったキーワードリサーチと情報収集の実践を行い、収集した情報をChatGPTに連携させて記事の下書きを作成する。キャンバスモードを活用し、読解レベルの調整（幼稚園児～大学院レベル）や文章の長さ調整を実演する。

【第7回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	AIライティング技術②
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	大内 結貴（株式会社ミライブースト）

●講師情報

京都大学大学院修了。診断薬開発から教材制作、マーケティングまで多様な業界を経験し、論文執筆実績も持つ。豊富な企業研修実績を持つAI活用講師として、様々な業界・職種に対するカスタマイズ研修を提供する。Webライターとして実務経験を積み、AIを活用した効率的なライティング手法を確立している。

●科目概要

前回学んだライティングの基礎を発展させ、記事作成を効率化するGPTsの構築方法を学ぶ。Claudeを活用した文章のブラッシュアップ技術、AI生成記事の人間らしさを高める編集テクニックを習得する。一連のライティングワークフローを自動化し、継続的に高品質な記事を生産できる体制を構築する。

●到達目標

【ねらい】 ライティング業務を効率化するためのGPTs活用法を理解し、反復作業を自動化する発想を身につける。AI生成文章の品質を人の手で高める編集スキルを養う。
【目標】 記事下書き作成用のGPTsを構築し、情報入力から下書き生成までを効率化できるようになる。Claudeの日本語生成能力を活かした文章のブラッシュアップ手法を習得する。SEO強化のための編集ポイントを理解し、AI生成記事の品質を向上させられるようになる。

●授業内容

前回作成した下書きをもとに、記事作成を一発で行えるGPTsの構築手順を解説する。GPTsの構成画面での設定方法、指示文の貼り付け、推奨モデルの選択、機能の有効化について実践する。Claudeを使った文章のブラッシュアップでは、日本語生成に優れたClaudeの特性を活かし、AI生成文章をより自然で読みやすい文章に仕上げる方法を学ぶ。SEO強化のポイントとして、見出しの最適化、キーワードの適切な配置、読者の検索意図への対応について解説する。ライティングの単価相場や、専門性を高めることによる収益向上の可能性についても触れる。

【第8回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	自動化システムの作り方①
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）

●講師情報

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。

●科目概要

GPTsとGoogleスプレッドシートを連携させ、業務データの自動処理システムを構築する方法を学ぶ。Google Apps Script（GAS）を活用したAPI連携の基礎を習得し、レシート読み取りから経費データの自動入力まで、実務で即活用可能な自動化システムを実際に構築する。プログラミング未経験者でも取り組める内容である。

●到達目標

【ねらい】 システム連携による業務自動化の可能性を理解し、繰り返し作業をAIに任せる発想を身につける。付加価値の低い作業を自動化し、人間は考える仕事に集中する働き方を目指す。
【目標】 GPTsとスプレッドシートを連携させるための基本的な仕組み（スキーマ、GASコード）を理解する。レシート画像を読み取り、指定フォーマットでスプレッドシートに自動入力するシステムを構築できるようになる。エラー発生時の対処方法や、システムの調整方法を習得する。

●授業内容

システム連携のメリットとして、繰り返し作業の自動化、情報の自動整理、品質の均一化を解説する。GPTsからスプレッドシートへの一方向連携の仕組みを図解で説明する。レシート自動読み取りシステムの構築を実践し、GPTsの設定、スキーマの作成、GASコードの実装を順に行う。タクシー領収書などの実際のレシート画像を使って動作確認を行い、読み取り精度の向上方法を学ぶ。経費精算データの自動処理など、応用事例も紹介する。履歴書、アンケートなど、様々なデータの自動処理への応用可能性を示す。

【第9回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	自動化システムの作り方②
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）

●講師情報

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。

●科目概要

前回学んだ一方向連携を発展させ、GPTsとスプレッドシートの双方向連携システムを構築する。在庫管理ボットを題材に、スプレッドシートのデータ参照と更新の両方をGPTsから行えるシステムを実装する。要件定義の重要性を理解し、AIに曖昧さを与えない明確な指示を設計する方法を習得する。

●到達目標

【ねらい】 要件定義の重要性を理解し、AIへの指示における曖昧さがシステムの不具合につながることを認識する。双方向連携により、より実用的な業務システムを構築する視点を養う。
【目標】 GPTsからスプレッドシートのデータを参照・更新できる双方向連携システムを構築できるようになる。要件定義を自動生成するGPTsを作成し、システム開発の精度を高められるようになる。在庫確認、在庫更新、履歴管理などの機能を備えた実用的なボットを構築できるようになる。

●授業内容

前回の一方向連携と双方向連携の違いを解説し、相互連携によって実現できることを具体例で示す。要件定義の重要性について、「足して2になる数字」の例を使って、曖昧な指示がAIの出力を不安定にすることを説明する。要件定義を自動生成するGPTsの作成手順を実践し、スプレッドシート連携に特化した指示文を構築する。在庫管理ボットの構築では、在庫数の確認、在庫数の更新、最終更新日時の自動記録などの機能を実装する。複数ユーザーからの更新にも対応するリアルタイム連携の仕組みを理解する。

【第10回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	AI活用マーケティングとクライアント獲得戦略①
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	河原田 茉莉（UNFRAME）

●講師情報

大手化粧品メーカーで約10年、商品企画・ブランド開発に従事。独立後は化粧品・美容領域に特化し、新規ブランドや新商品の支援を行う。AIを活用した「コンセプト設計〜世界観構築」を強みに、AI×ブランディング講座を主宰。セミナー累計参加者300名超の実績を持つ。

●科目概要

AIを活用したInstagramマーケティングの基礎から実践までを学ぶ。市場分析、競合調査、アカウント設計、投稿文作成の一連のフローをAIツールで効率化する方法を習得する。3C分析の考え方をSNSマーケティングに応用し、戦略的なアカウント運営の土台を構築する。今回はテキストコンテンツの作成に焦点を当てる。

●到達目標

【ねらい】 SNSマーケティングにおける戦略的思考を身につけ、闇雲に投稿するのではなく、市場・競合・自社の分析に基づいたアカウント設計の重要性を理解する。
【目標】 DeepResearchを活用した市場分析・トレンド調査ができるようになる。競合アカウントの分析手法を理解し、自社の差別化ポイントを明確にできるようになる。ChatGPT・Claudeを活用して、ターゲットに響く投稿文を効率的に作成できるようになる。

●授業内容

Instagramの現在の位置づけとして、「同じ価値観の人と繋がる場所」というビジョンを解説し、アルゴリズムの基本的な考え方を理解する。SNSマーケティングの全体フローとして、市場調査、競合分析、アカウント設計、テーマ選び、文章作成、デザイン、投稿、分析、改善のサイクルを示す。
DeepResearchを使った市場トレンドの調査を実践し、ターゲット層の心理・行動分析を行う。3C分析をInstagramに応用し、コンセプト、ターゲット、コンテンツの3要素を明確化する。ChatGPTを使った投稿文の作成では、ユーザーの検索意図に応じた構成と表現を学ぶ。

【第11回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	AI活用マーケティングとクライアント獲得戦略②
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	河原田 茉莉（UNFRAME）

●講師情報

大手化粧品メーカーで約10年、商品企画・ブランド開発に従事。独立後は化粧品・美容領域に特化し、新規ブランドや新商品の支援を行う。AIを活用した「コンセプト設計〜世界観構築」を強みに、AI×ブランディング講座を主宰。セミナー累計参加者300名超の実績を持つ。

●科目概要

前回のInstagramテキスト投稿に続き、視覚的なコンテンツ作成に焦点を当てる。AIを活用したサムネイル画像の作成、効果的なキャッチコピーの自動生成、画像生成AIの実践的活用方法を習得する。デザイン未経験者でも、ターゲットに響くビジュアルコンテンツを効率的に作成できるスキルを身につける。さらに、投稿後のインサイト分析をAIで自動化する手法も学ぶ。

●到達目標

【ねらい】 デザインスキルがなくても、AIツールを駆使することで、プロレベルのビジュアルコンテンツが作成できることを体感する。
【目標】 AIを活用して、ターゲットに響くキャッチコピーを効率的に生成したり、インサイトデータを分析し、改善提案を得る仕組みを構築する。画像生成AIとCanvaを組み合わせた、文字入りビジュアルの作成手法を習得する。競合投稿のデザイン傾向を分析し、自社のコンテンツに活かす方法を理解する。

●授業内容

キャッチコピー生成では、リサーチ結果をもとにターゲット心理を分析し、専用GPTsを活用したタイトル案の自動生成を実践する。画像作成では、Imagen 3の思考モードを活用した高精度な文字入り画像生成と、Canvaでのテンプレート活用やトレース技術を習得し、統一感のあるデザインを効率的に制作する方法を学ぶ。競合分析として、発見欄の投稿をChatGPTで分析し、構図・色使い・フォントの傾向を把握してテンプレートに反映させる手法を理解する。インサイト分析では、投稿データをAIに読み込ませるだけで課題抽出と改善提案を得られる自動分析の仕組みを構築し、PDCAサイクルを効率化する。

【第12回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	自動化ツールによるGmail自動返信システムの作成①
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）

●講師情報

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。

●科目概要

自動化プラットフォーム(n8n)を活用し、メール受信から返信文の自動下書き保存まで一気通貫で自動化するシステムを構築する。AIエージェントの概念を理解し、複数のツールやサービスを連携させた高度な業務自動化の基礎を習得する。ツールの特徴と強みを理解し、実務での活用イメージを具体化する。

●到達目標

【ねらい】 単純なAI活用から一歩進んで、AIを中心とした複数システムの連携による真の業務自動化を体験し、24時間稼働するデジタル執事のような仕組みを自ら構築できることを実感する。
【目標】 n8nの基本構造であるトリガーとアクションの関係を理解し、Gmail連携の設定ができるようになる。AIエージェントを活用して、返信を自動生成する仕組みを構築したり、ChatGPT APIを接続し、生成された返信文をGmailの下書きに自動保存する一連のワークフローを完成させる。

●授業内容

n8nの特徴として、セルフホストによる機密情報の保護、高度な処理への対応力などを理解する。基本的なワークフロー構築では、Gmailの受信をトリガーとし、AIエージェントがメール内容を読み取ってChatGPTに指示を送り、生成された返信文を自動で下書き保存する一連の流れを実装する。ChatGPT APIの連携設定を行い、自社の営業時間や会社情報などを正確に反映させる方法を学ぶことで、信頼性の高い自動返信システムを実現する。エラー発生時の対処法や、ハルシネーションを防ぐ工夫や、AIアシスタント機能を活用したトラブルシューティングの基本も習得する。

【第13回】AIキャリアアップコース

コース名	形式	科目名
AIキャリアアップコース	オンライン	自動化ツールによるGmail自動返信システムの作成②
総時間	受講対象者	講師
1.5	全員	村上 大輔（株式会社ぱるぷんて）

●講師情報

トヨタ自動車に10年以上勤務し、生産技術エンジニアやコネクティッド関係の事業企画を担当。トヨタ時代には、工場建設やインフラ構築のためにインドやロシアに赴任した経験や、出張ベースで10カ国以上の国で仕事をしてきた経験を持つ。現在は、株式会社ぱるぷんてを立ち上げ、AI事業とWebマーケティングを専門とした事業を営んでいる。

●科目概要

前回構築した基本的なメール自動返信システムをさらに発展させ、実務で即戦力となる高度な自動化ワークフローを構築する。条件分岐による処理の振り分け、添付ファイルの自動保存、特定条件でのアラート通知など、より複雑な業務要件に対応できるn8nの応用技術を習得する。

●到達目標

【ねらい】 単純な自動返信を超えて、業務の複雑な要件に柔軟に対応できる自動化システムの設計思想を理解し、自社の業務プロセスに応じたカスタマイズができる応用力を身につける。
【目標】 条件分岐を活用して、メール内容に応じて処理を振り分けるワークフローの構築や、添付ファイルを自動的にクラウドストレージに保存する機能を実装できるようになる。社内マニュアルやFAQをAIエージェントに参照させ、ルールに基づいた一貫性のある返信を生成する仕組みを作れるようになる。

●授業内容

条件分岐の実装では、メール内容や送信者によって異なる対応を自動で振り分ける仕組みを構築し、業務効率化とミスの削減を実現する。添付ファイルの自動保存機能を使い、重要な書類を即座にクラウド上に整理・保管する流れを学ぶ。社内マニュアルをAIエージェントに読み込ませることで、誰でも同じ品質の対応ができる仕組みを構築し、メール以外のツールとの連携では、通知機能や自動レポート作成など、より広範な業務自動化の可能性を探る。実務への応用例として、ECサイト運営、広告運用、社内ナレッジ管理など、様々な業種・職種で活用できる、24時間稼働の専用自動化システムの完成を目指す。